

消石灰の散布方法

国内では、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱に加え、ランピースキン病の発生が確認されています。病原体農場侵入防止として消毒の徹底をお願いしていますが、消毒薬を正しく使用しないと十分な効果は得られません。今回は畜産現場で使用頻度の高い消石灰について紹介します。

ポイント

1. 消石灰は畜舎周囲及び農場外縁部に散布

- ◆ 散布の目安は $0.5\text{kg}/\text{m}^2$
- ◆ 箒等を使用して地面がまんべんなく白く均一になるように

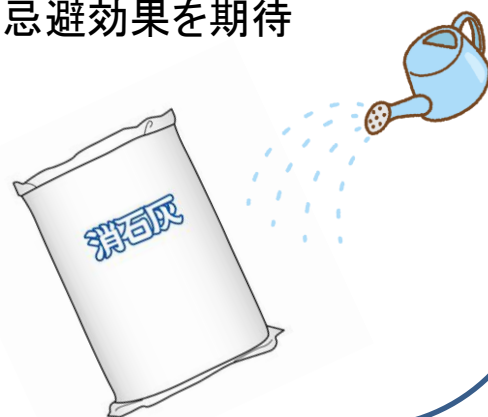


2. 水を追加すると強アルカリ化 3. 野生動物対策

- ◆ 効果は2週間程度
- ◆ 1週間に1回、追加散布を検討
⇒ 空気(CO₂)と触れると、効果が減少
⇒ 粉のため、飛散しやすい

- ◆ 野生動物の足裏等に付着した病原体の不活化
- ◆ 忌避効果を期待

- ◆ 粉の状態に水を追加すると効果上昇
⇒ じょうろ等で床を濡らし、石灰乳として使用



**消石灰は、強いアルカリであることを忘れずに
周辺環境に配慮しながら散布してください**

岐阜県中央家畜保健衛生所

〒501-1112 岐阜市柳戸1-1

TEL : 058-201-0530

FAX : 058-201-0531

Email : c24502@pref.gifu.lg.jp

